
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2007年第42週
(10月15日～10月21日)

- * 2007年10月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「リッサウイルス感染症」も掲載しています。

2007年10月25日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 患者報告数 2007年42週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	59	80	67	49	2183	223	11608
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ					2		11
	細菌性赤痢	1	3		1	71	5	397
	腸管出血性大腸菌感染症	17	8	6	4	426	126	4017
	腸チフス		1		1	11	1	39
	パラチフス					4		15
四類	E型肝炎					2	1	47
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1			17	1	123
	エキノコックス症					3		13
	黄熱							
	オウム病					1		26
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱	1				1		4
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		3
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	1	100
	デング熱	1		2		20	1	78
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ #							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	67
	日本脳炎							3
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
	マラリア	2		1		21	1	43
	野兔病							
ライム病					3		10	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2	1	1		44	11	516	
レプトスピラ症					3		21	
ロッキー山紅斑熱								

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	2	2	3	141	5	616
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	2		1	33	2	186
	急性脳炎 **					17	1	187
	クリプトスポリジウム症					1		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			11	1	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			5		81
	後天性免疫不全症候群	15	14	13	10	408	12	1167
	ジアルジア症	1			1	14		41
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		13
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	6	3	3	123	5	562
	破傷風					1	2	77
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1			1	13	1	61	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2007/10/24集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

2007年14週集計分より「高病原性鳥インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」に変更

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 49件

肺結核34件、その他15件で、推定感染地は国内29、インド2件、中国1件、ブラジル1件、不明16件であった。年齢群は、5歳未満2件、20歳代8件、30歳代2件、40歳代4件、50歳代7件、60歳代8件、70歳代12件、80歳代5件、90歳代1件であった。死亡例が1件(肺結核70歳代)報告されていた。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件

ソネ1件で、感染地域は不明であった。

腸管出血性大腸菌感染症 4件

患者3件、無症状病原体保有者1件で、血清型・毒素型は、O157(VT1・VT2) 3件、O157(VT1) 1件であった。年齢群は、10歳未満1件、10歳代1件、20歳代1件、50歳代1件であった。

腸チフス 1件

推定感染地域はインド/ネパールであった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件

いずれも腸管アメーバ症で、推定感染地は国内1件、不明2件、推定感染経路は同性間性的接触1件、飲食物による経口感染1件、不明1件であった。

ウイルス性肝炎 1件

B型で、推定感染地域はタイ、推定感染経路は異性間性的接触であった。

後天性免疫不全症候群 10件

無症候キャリア5件、AIDS 3件、その他2件であった。推定感染地は国内7件、タイ1件、コンゴ共和国1件、不明1件で、推定感染経路はすべて性的接触(同性間6件、異性間3件、両性間1件)であった。

ジアルジア症 1件

推定感染地域は国内で、感染経路は不明であった。

梅毒 3件

早期顕症梅毒 I 期1件、早期顕症梅毒 II 期1件、晩期顕症梅毒1件、推定感染経路はすべて性的接触(異性間1件、性別不明2件)であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件

VanBで、便から検出され(下痢症状あり)、感染経路は不明であった。

五類定点把握対象疾患 患者報告数 2007年42週

疾病名	2007年				4週合計	年累計
	39週	40週	41週	42週		
RSウイルス感染症	7	24	15	19	65	630
インフルエンザ	16	32	24	45	117	43,925
咽頭結膜熱	27	45	21	22	115	2,458
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	98	154	145	184	581	9,387
感染性胃腸炎	511	563	499	567	2,140	29,388
水痘	48	45	51	72	216	7,072
手足口病	146	99	113	113	471	3,885
伝染性紅斑	21	16	23	10	70	2,620
突発性発しん	115	115	81	93	404	3,804
百日咳	3	11	12	8	34	101
風しん	2	0	0	0	2	31
ヘルパンギーナ	100	75	56	44	275	6,611
麻しん(成人麻しんを除く)	1	2	0	1	4	292
流行性耳下腺炎	21	31	39	31	122	1,634
不明発しん症	19	18	6	17	60	561
MCLS	2	0	4	2	8	96
急性出血性結膜炎	1	4	3	1	9	64
流行性角結膜炎	14	12	17	25	68	759
細菌性髄膜炎	0	0	1	1	2	26
無菌性髄膜炎	0	1	2	0	3	47
マイコプラズマ肺炎	6	3	7	5	21	156
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	2	1	1	4	15
成人麻しん	0	0	0	1	1	254
2007/10/24集計						

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は微増した。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増した。2006年同時期と比べて若干少ない。
- ・百日咳の定点当たり報告数は41週から減少したが依然高いレベルにある。実数で8人、うち5人が20歳以上であった。

(定点医療機関からのコメント)

大田区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名(6歳)

世田谷区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名(7歳)
- ・インフルエンザ:4名すべてA型(6歳1名、8歳3名)。8歳児は同級生
- ・インフルエンザ:A型1名(60～69歳)

池袋保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名(10～14歳)

多摩小平保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名(10～14歳)
- ・インフルエンザ:3名いずれもA型です。(1歳1名、10～14歳2名)
- ・インフルエンザ:A型1名(7歳)

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年42週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	4		1		12	2			5
～11か月	12	1	1	1	47	3	7		44
1歳	3	1	3	3	73	14	25	3	38
2歳			5	8	50	9	19		5
3歳		3	1	18	44	7	20	1	1
4歳		1		14	41	16	16		
5歳		2	3	34	33	5	10	4	
6歳		12	1	29	30	8	9		
7歳		6	3	23	33	4	2		
8歳		6	3	9	25	1		1	
9歳		3	1	9	25		1		
10～14歳		6		21	55	3	1	1	
15～19歳		1			8				
20～29歳				15	91		3		
30～39歳		1							
40～49歳		1							
50～59歳									
60～69歳		1							
70～79歳									
80歳以上									
合計	19	45	22	184	567	72	113	10	93
先週比	4	21	1	39	72	21	0	-13	12

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月	1							1	
～11か月			4				1	4	
1歳			14		2			5	2
2歳			4		3			3	
3歳			6		1		1	1	
4歳	1		5		4			1	
5歳			2		2			1	
6歳	1		3		3				
7歳			1		5		1		
8歳					4			1	
9歳			1		4				
10～14歳			2		2				
15～19歳			1		1		2		
20～29歳	5		1	1		1	4		
30～39歳							8		
40～49歳							4		
50～59歳							2		
60～69歳									
70～79歳							2		
80歳以上									
合計	8	-	44	1	31	1	25	17	2
先週比	-4	0	-12	1	-8	-2	8	11	-2

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年42週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	2					2				
中央区				2	5	2	1		3	
みなと	4		8	9	39		1		2	
新宿区		1		6	24	2	2		1	
文京		1		3		1	2			
台東				1	9	1	2		4	
墨田区				3	5	2	3			
江東区		2		2	28	2	4		6	
品川区		3		9	45		6		6	
目黒区						2	1		1	
大田区	3	3	3	9	45	2	10		7	5
世田谷		18	1	5	27	6	4		4	
渋谷区			1	3	14		1		1	
中野区				9	20	4	1		2	
杉並				11	28	1	3		3	
池袋		5			6	2	3		1	
北区				3	13	6	1		5	
荒川区				1	11	2	1		2	
板橋区				1	18	1				
練馬区				4	15	1	4		4	
足立			1	2	29	1	1		3	1
葛飾区				5	7	3	3			
江戸川	4		2	13	11	1	14		4	
西多摩				1	10		10		5	
八王子	2		4	18	58	11	9	2	5	1
南多摩		3		3	19	2	4	1	5	
町田		1		38	37	8	8	5	6	
多摩立川				1	6			1		1
多摩府中	1	2		2	12	6	2	1	6	
多摩小平	3	6	2	17	26	1	12		7	
島しょ				3						

東京都合計	19	45	22	184	567	72	113	10	93	8
定点当り報告数	0.13	0.16	0.15	1.23	3.78	0.48	0.75	0.07	0.62	0.05

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									4
中央区									13
みなと		1					2		66
新宿区						4			40
文京						1			8
台東		1							18
墨田区				1		2			16
江東区		5		1					50
品川区		5		1			2		77
目黒区				1		1			6
大田区		4		4		2			97
世田谷		1		1	1				68
渋谷区									20
中野区		1		3		1	1		42
杉並				1					47
池袋				2		1			20
北区				2					30
荒川区						2			19
板橋区				2		3			25
練馬区		1				5	2		36
足立		6		3			2		49
葛飾区		1		3					22
江戸川				1					50
西多摩		2				1			29
八王子			1	2			5	1	119
南多摩		4		1					42
町田		4		1			3		111
多摩立川		1				1			11
多摩府中						1			33
多摩小平		7		1				1	83
島しょ									3

東京都合計	-	44	1	31	1	25	17	2	1,254
定点当り報告数	-	0.29	0.01	0.21	0.03	0.66	0.11	0.01	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年42週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	0.50					0.50				
中央区				0.67	1.67	0.67	0.33		1.00	
みなと	0.67		1.33	1.50	6.50		0.17		0.33	
新宿区		0.11		1.00	4.00	0.33	0.33		0.17	
文京		0.20		1.00		0.33	0.67			
台東				0.33	3.00	0.33	0.67		1.33	
墨田区				1.00	1.67	0.67	1.00			
江東区		0.22		0.50	7.00	0.50	1.00		1.50	
品川区		0.30		1.50	7.50		1.00		1.00	
目黒区						0.67	0.33		0.33	
大田区	0.33	0.19	0.33	1.00	5.00	0.22	1.11		0.78	0.56
世田谷		1.13	0.13	0.63	3.38	0.75	0.50		0.50	
渋谷区			0.25	0.75	3.50		0.25		0.25	
中野区				1.50	3.33	0.67	0.17		0.33	
杉並				1.83	4.67	0.17	0.50		0.50	
池袋		0.71			1.20	0.40	0.60		0.20	
北区				0.75	3.25	1.50	0.25		1.25	
荒川区				0.50	5.50	1.00	0.50		1.00	
板橋区				0.17	3.00	0.17				
練馬区				0.80	3.00	0.20	0.80		0.80	
足立			0.20	0.40	5.80	0.20	0.20		0.60	0.20
葛飾区				1.25	1.75	0.75	0.75			
江戸川	0.80		0.40	2.60	2.20	0.20	2.80		0.80	
西多摩				0.20	2.00		2.00		1.00	
八王子	0.50		1.00	4.50	14.50	2.75	2.25	0.50	1.25	0.25
南多摩		0.33		0.75	4.75	0.50	1.00	0.25	1.25	
町田		0.11		9.50	9.25	2.00	2.00	1.25	1.50	
多摩立川				0.17	1.00			0.17		0.17
多摩府中	0.10	0.10		0.20	1.20	0.60	0.20	0.10	0.60	
多摩小平	0.50	0.43	0.33	2.83	4.33	0.17	2.00		1.17	
島しょ				3.00						

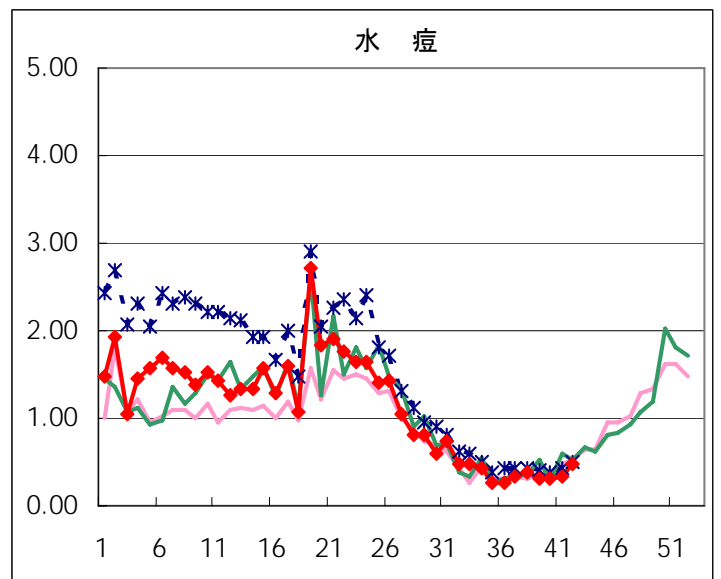
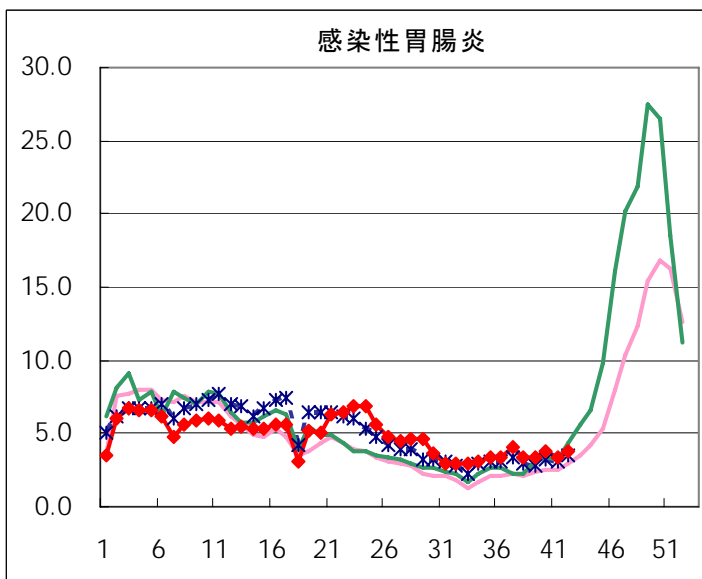
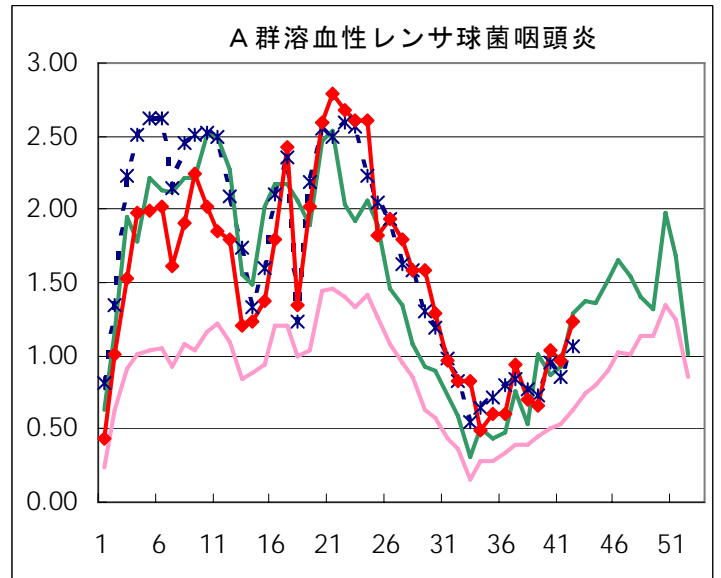
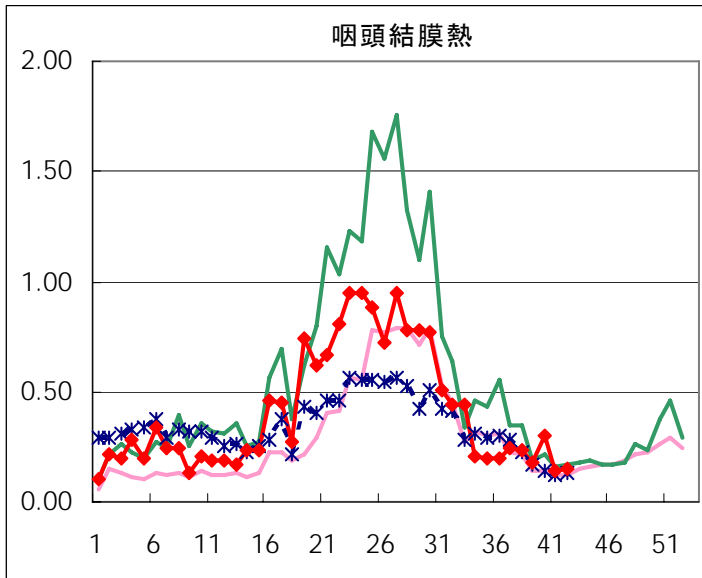
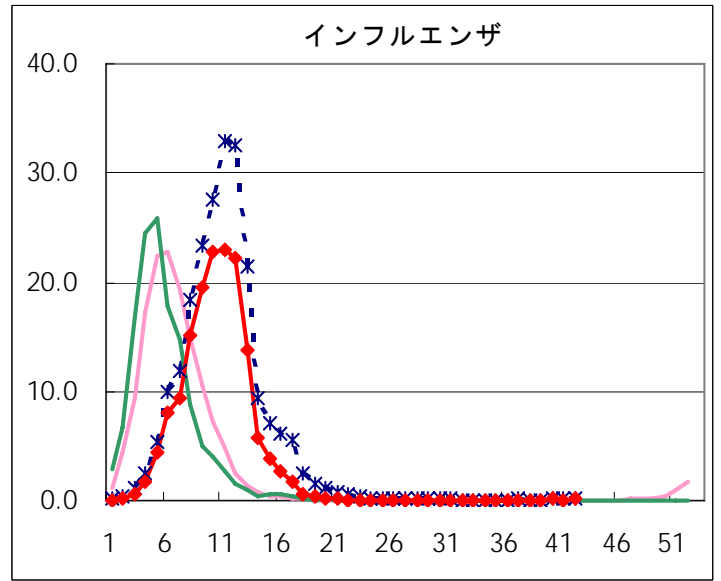
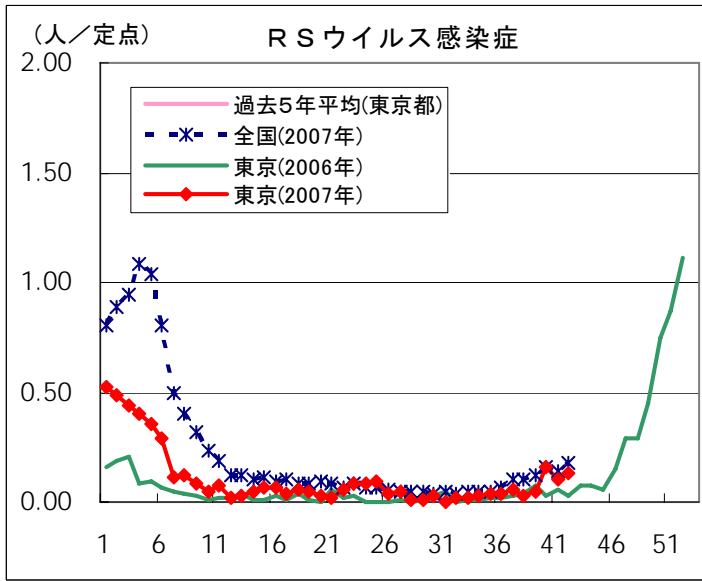
東京都合計	19	45	22	184	567	72	113	10	93	8
定点当り報告数	0.13	0.16	0.15	1.23	3.78	0.48	0.75	0.07	0.62	0.05

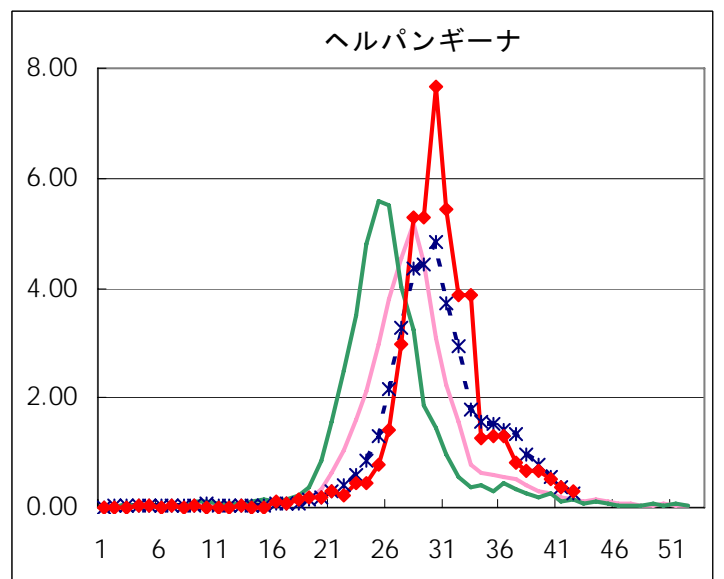
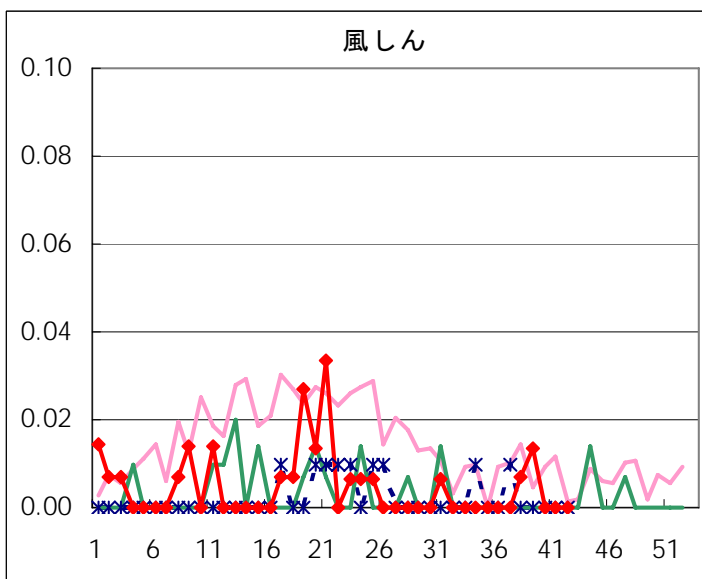
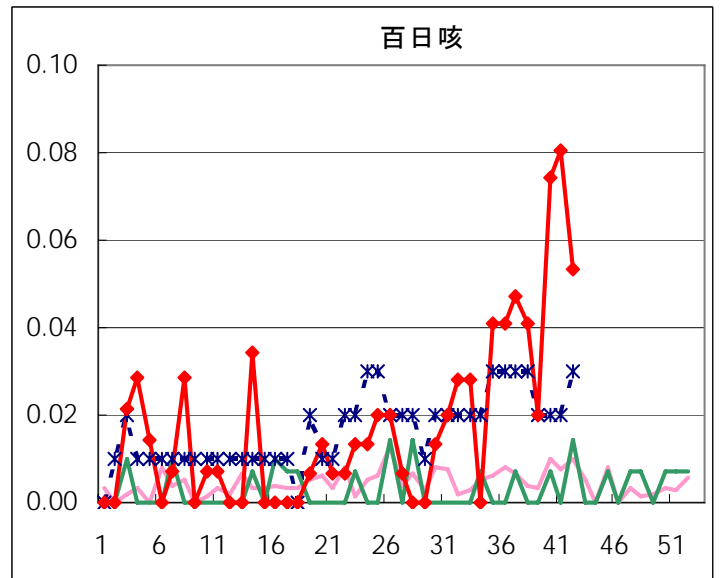
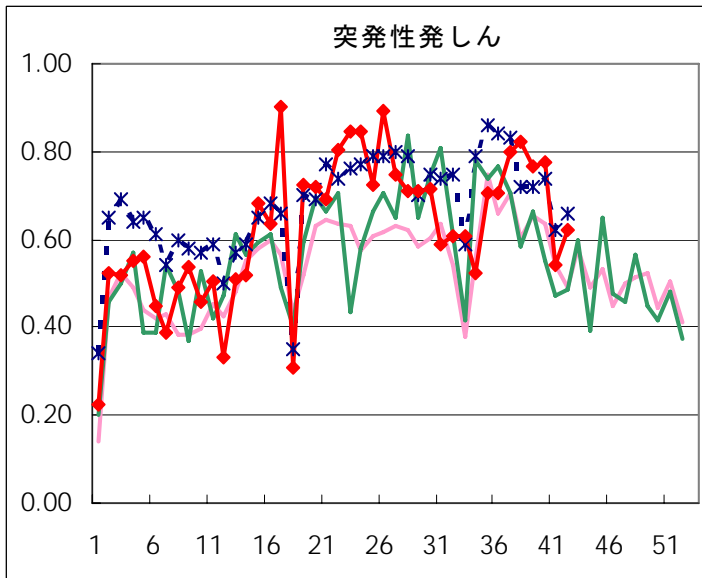
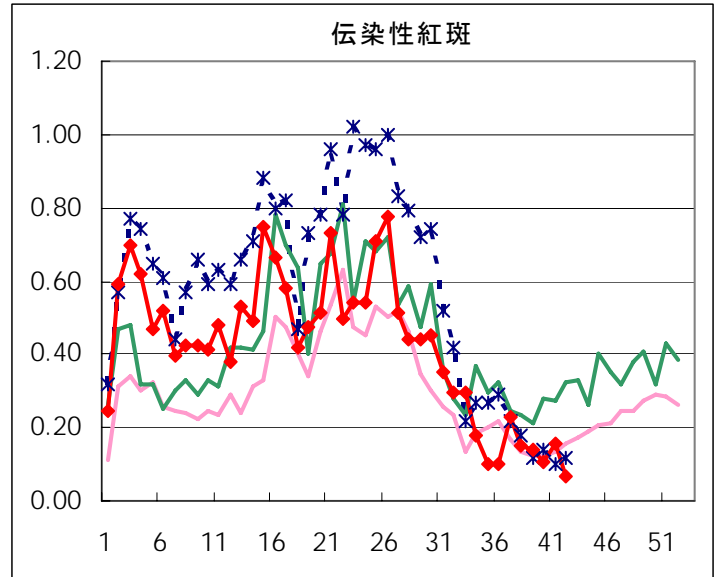
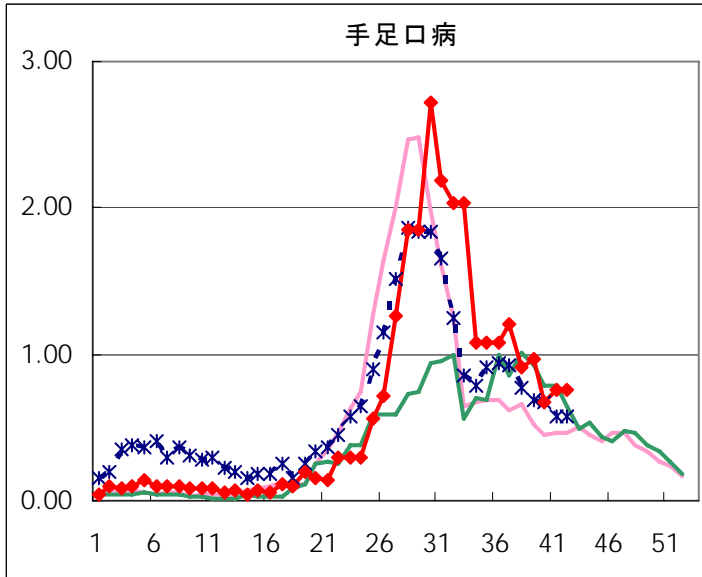
	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区								
みなと		0.17					0.33	
新宿区						2.00		
文京						1.00		
台東		0.33						
墨田区				0.33		2.00		
江東区		1.25		0.25				
品川区		0.83		0.17			0.33	
目黒区				0.33		1.00		
大田区		0.44		0.44		1.00		
世田谷		0.13		0.13	0.50			
渋谷区								
中野区		0.17		0.50		1.00	0.17	
杉並				0.17				
池袋				0.40		1.00		
北区				0.50				
荒川区						2.00		
板橋区				0.33		1.50		
練馬区		0.20				2.50	0.40	
足立		1.20		0.60			0.40	
葛飾区		0.25		0.75				
江戸川				0.20				
西多摩		0.40				1.00		
八王子			0.25	0.50			1.25	0.25
南多摩		1.00		0.25				
町田		1.00		0.25			0.75	
多摩立川		0.17				0.50		
多摩府中						0.50		
多摩小平		1.17		0.17				0.17
島しょ								

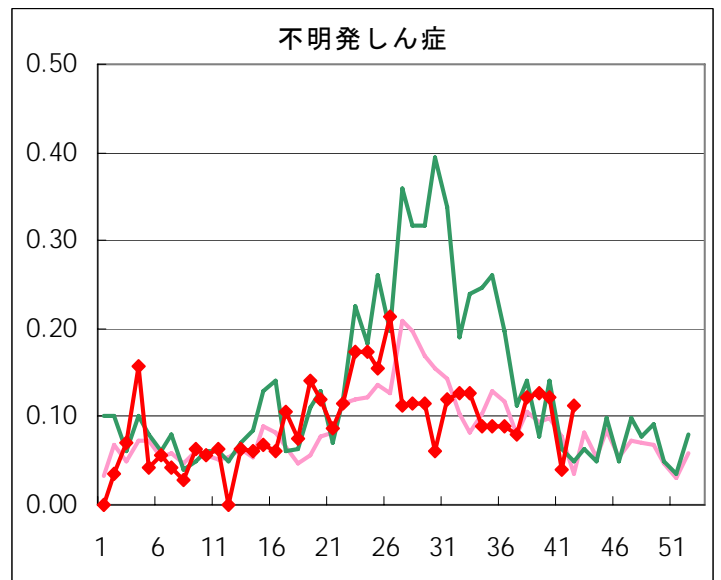
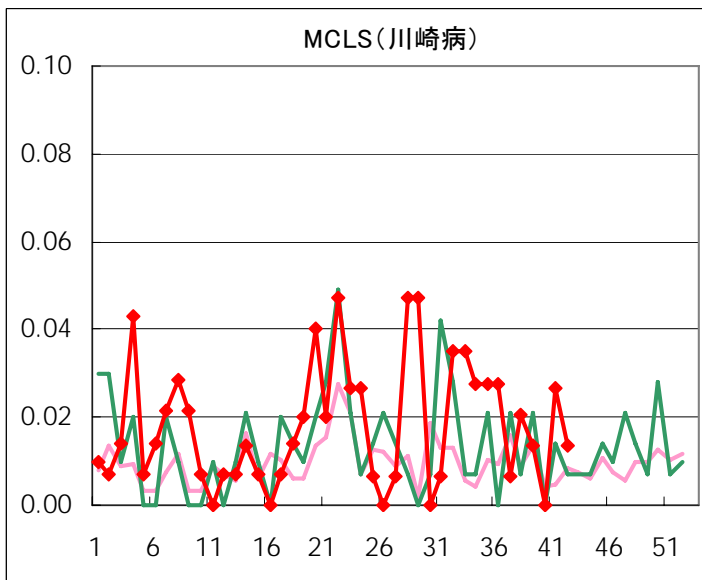
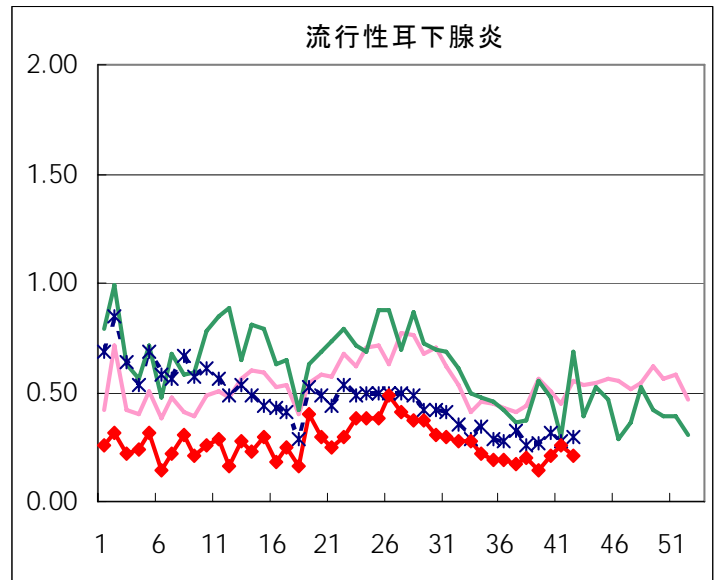
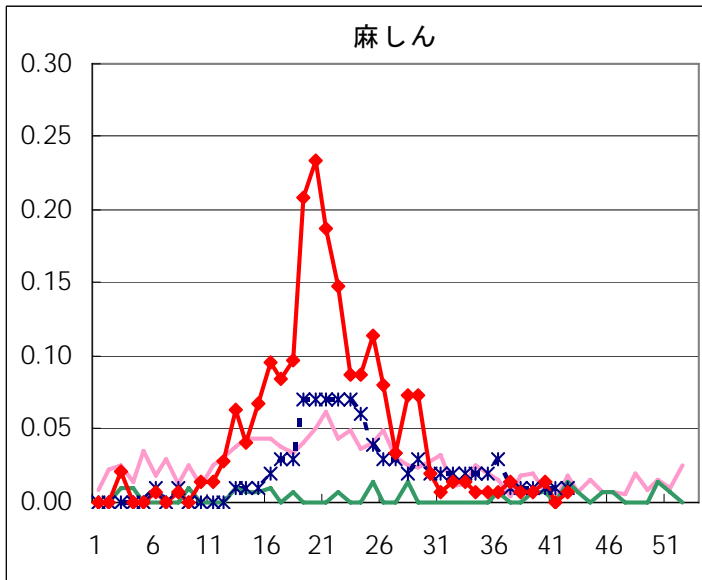
東京都合計	-	44	1	31	1	25	17	2
定点当り報告数	-	0.29	0.01	0.21	0.03	0.66	0.11	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年42週現在

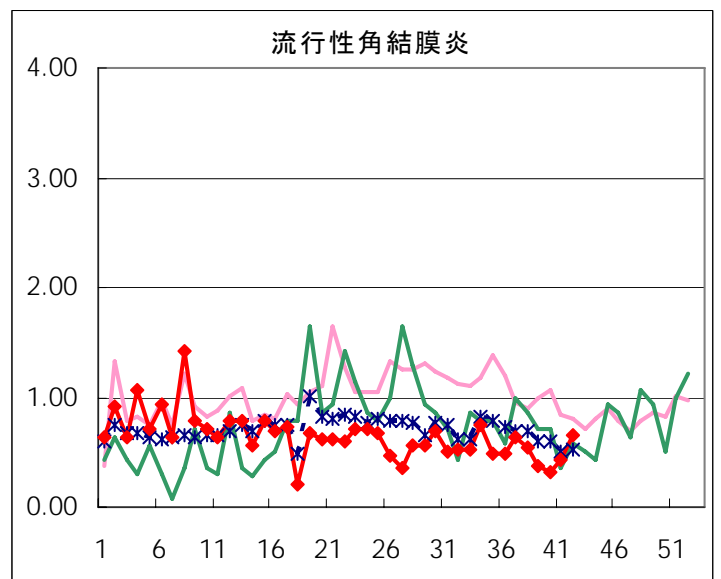
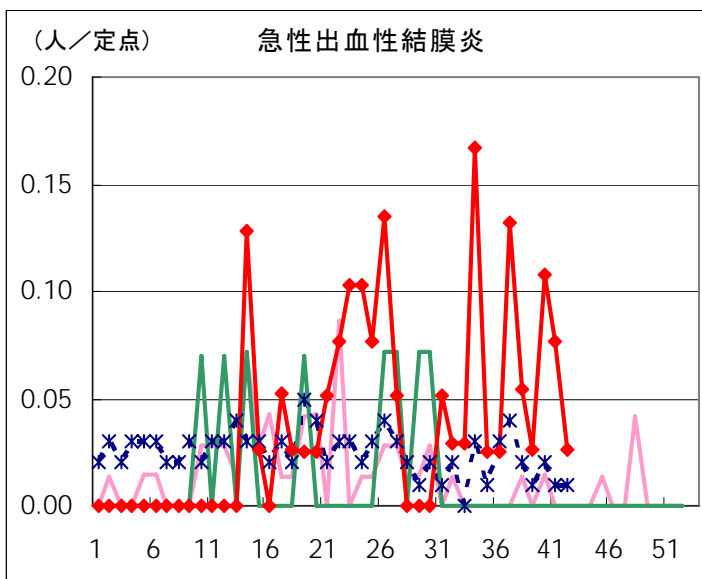
◆ 小児科・インフルエンザ定点



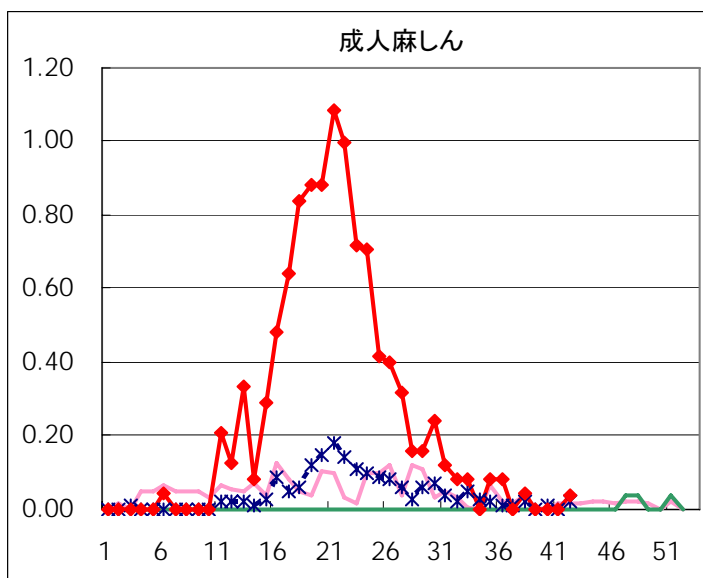
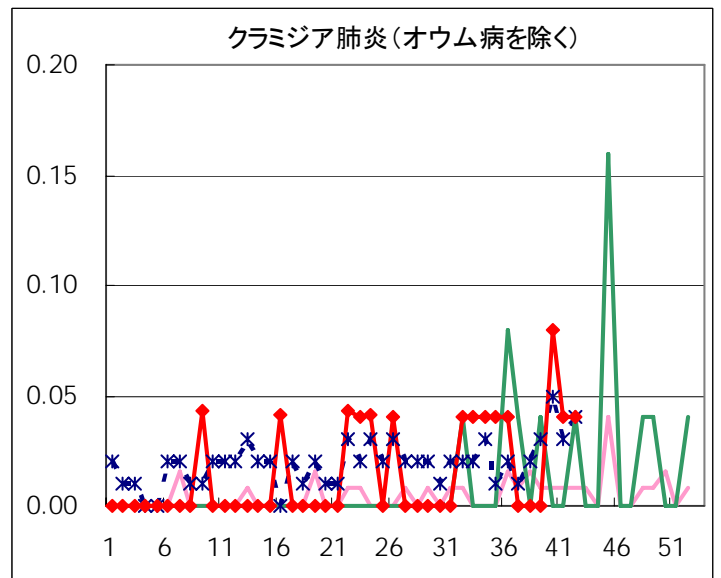
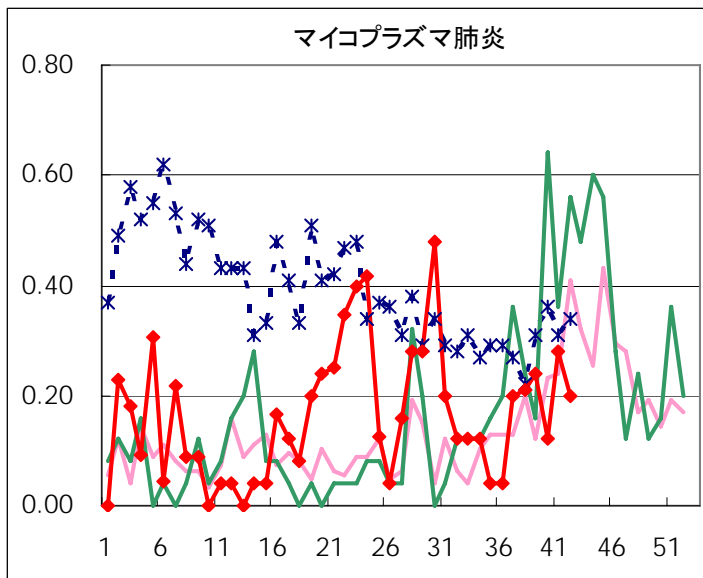
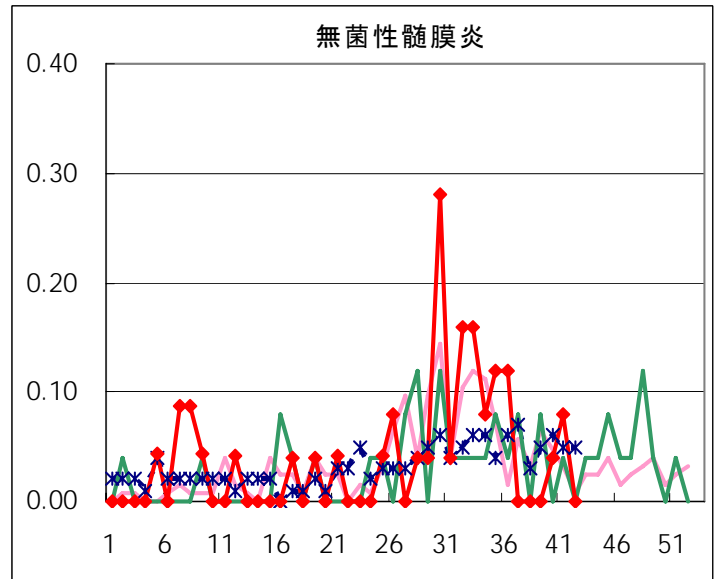
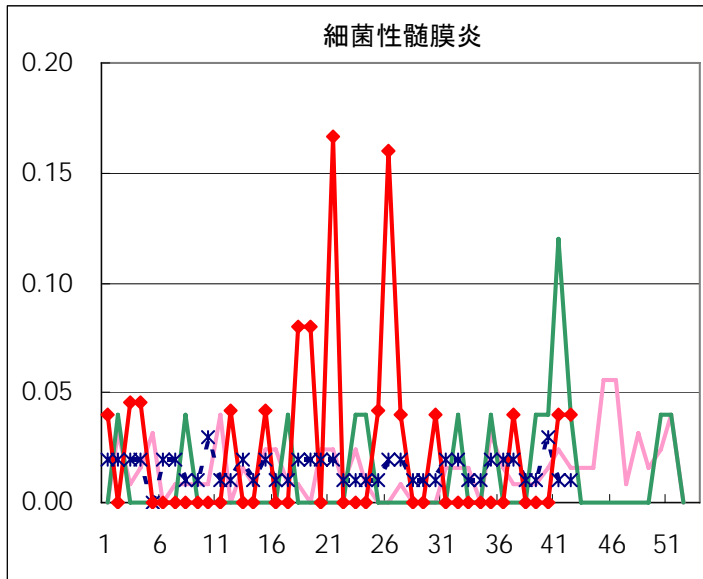




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	290	287
眼科	急性出血性結膜炎	39	38
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	25
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻疹		
小児科	上記を除く疾病	150	150

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/3	重度感染症	2M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	遺伝子
10/4	デング熱	22	血液	デングウイルス (IgM)	抗体
10/4	インフルエンザ	44	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1	遺伝子
10/4	気管支喘息 上気道炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
10/4	手足口病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルスA群	
10/5	下痢 発熱	23	血液	デングウイルス	
10/5	麻しん 突発性発しん	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/6	急性脳症	4M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/6	マイコプラズマ肺炎 下気道炎	13	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア	
10/9	気管支炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス パラインフルエンザウイルス1型	
10/9	不明熱	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/10	気管支喘息	3	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
10/11	気管支炎	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/12	不明発しん	4	咽頭拭い液	EBウイルス ヒトヘルペスウイルス7型	

週別検査状況 2007年34週～41週

検出病原体・抗体		2007年								合計
		34	35	36	37	38	39	40	41	
ウイルス	アデノ	1	1		1	1			3	7
	ライノ			1	4	1	1	1		8
	ポリオ		1							1
	コクサッキーA群	2	1				1			4
	コクサッキーB群									
	エコー	4		1						5
	エンテロ71			1						1
	その他のエンテロ	5	5	5	7	3	6	3	7	41
	単純ヘルペス	1		1		1	1			4
	水痘・帯状疱疹			1						1
	ヘルペス6/7	7	2	2	6	3	4	2	3	29
	EB	1	1	3		1		4	1	11
	サイトメガロ		1	1				1		3
	ムンプス									
	麻疹			1						1
	風疹				2					2
	パルボB19				1					1
	RS	1	1			1		1		4
	ノロ									
	ロタ		1			1				2
	インフルエンザAH1						2		1	3
	インフルエンザAH3			2						2
	インフルエンザB									
デング		1						2	3	
その他のウイルス	1	4			1			1	7	
細菌	カンピロバクター						1			1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌									
	溶血性レンサ球菌									
	その他の細菌					1			1	2
その他の病原体										

臨床診断名別検査結果 2007年34週～41週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	22	33	26	27	61			1	1	7	1	14	1		3		104	
アデノ		1	4														2	7
ライノ	3	1									1	2					1	8
ポリオ		1																1
コクサッキーA群		1	1							2								4
コクサッキーB群																		
エコー					4													1
エンテロ71																		1
その他のエンテロ	1	7	7	2	15					4								5
単純ヘルペス					1													3
水痘・带状疱疹しん												1						1
ヘルペス6/7		1	1		3				1	1		6			2		14	29
EB		1			1							1						8
サイトメガロ			1															2
ムンプス																		
麻しん																		1
風しん												1						1
パルボB19											1							1
RS			3															1
ノロ																		
ロタ				2														2
インフルエンザAH1	3																	3
インフルエンザAH3	1		1															2
インフルエンザB																		
デング				1														2
その他のウイルス		3	4															7
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																		
溶血性レンサ球菌																		
その他の細菌		1	1															2
その他の病原体																		
備考																		

<感染症豆知識>

リッサウイルス感染症

狂犬病ウイルスを除くリッサウイルス属による狂犬病と類似の症状を示す人獣共通感染症で、現在、遺伝子型1型の狂犬病ウイルス以外の、*Lagos bat lyssavirus* 2型、*Mokola virus* 3型、*Duvenhage virus* 4型、*European bat lyssavirus1&2*と6型(EBL1&2)、*Australian bat lyssavirus* 7型(ABL)の6種類が食虫コウモリ、オオコウモリ、食果コウモリ、トガリネズミ(*Mokola virus*のみ)から分離・分類され、主にアフリカ、ヨーロッパ、オーストラリアに分布しているが、近年、中央アジアやシベリアのコウモリから新しいリッサウイルスが分離されている。人は感染コウモリに咬まれることにより唾液に含まれるウイルスが咬傷や傷口から、また粘膜との接触を介して感染する。また、感染コウモリが生息する洞窟内では尿中に排泄されたウイルスによって空気感染が成立する可能性が指摘されている。潜伏期間は咬傷部位によって異なるが20日から90日。症状は、狂犬病と類似の症状を示し、知覚過敏、興奮性の亢進、恐水症状や精神攪乱などの中樞神経症状を呈し、呼吸停止とともに死亡する。現在までに9例報告され、8例は狂犬病と同様の症状を示して死亡。*Mokola virus* が感染した1例は急性の発熱と痙攣を起こしたが回復した。発症した場合、有効な治療法はない。予防のためのワクチンや免疫グロブリンはないが、ABLで狂犬病ワクチンの有効性が認められる。EBL感染コウモリでは協調運動の欠落、興奮及び攻撃的な神経症状が見られた報告があるが臨床知見が乏しく詳細は不明。なお、無症状のコウモリからリッサウイルスが分離されている。発症予防や感染が疑われた場合は曝露後の狂犬病ワクチン接種が推奨される。

(文責・日本大学医学部生物学教室准教授 池田忠生)